

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 経企-05 事務管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	行革推進課	関連課								
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	組織の効率的運営、組織の合理化									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	1,323	1,187	1,227						
	(国・県)									
	(負担金等)			699						
	(一般財源)	1,323	1,187	528						
	人員配置数	2.5人	2.0人	2.5人						
	人件費(千円)	18,949	15,816	21,807						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	20,272	17,003	23,034						
	市民1人当りの経費(円)	114	96	130						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	大和市	厚木市	小田原市	秦野市	座間市	海老名市		
	人口千人あたりの	7.18	5.40	6.59	7.19	5.87	5.59	5.67		
	職員数(平成25年4月									
	1日現在・普通会計)									
指標	評価	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終年度(27年度)			
職員数の適正化(各年度4月1日時点)	○	目標値	—	1,354人	1,327人	1,304人	1,276人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	1,379人	1,348人	1,339人	1,337人				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止							
事務管理事務	136	事務管理事務	1,364	今後の 方向性	B	理由 ・手法	第3次職員数適正化計画の着実な実現に向けた 進行管理を図るとともに、再任用義務化による影 響を勘案した上で、適正化計画の見直しに取り組 む。 職員提案制度を見直し、事務改善に取り組む				
事務改善事務	1,187										
				今後の 方向性		理由 ・手法					
				今後の 方向性		理由 ・手法					
				今後の 方向性		理由 ・手法					

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	再任用義務化により職員数削減に影響がでることが想定され、目標を達成するためには、新たな取り組みが必要となる。また、職員提案制度については、提案実施指示書が送付された案件について実現化へ向けた取組みを進める。											
課題解決のための取組	再任用義務化については、シミュレーションを行い、今後の影響について検証を行った。また、適正化計画の進行管理については、予定されていた計画に基づきヒアリング等を行ない、目標達成に向けて取り組んだ。 職員提案制度については、指示書が送付された提案の実績報告を職員提案審査委員会でいき、未解決の提案に対して再度、指示書を送付した。						取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	第3次鎌倉市職員数適正化計画については、平成26年度が取り組みの最終年度となっていることから、計画の見直しにむけて取り組む必要がある。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	第3次鎌倉市職員数適正化の適正な進行管理を行なうとともに、次年度以降の職員適正化の見直しに向けて取り組 みます。また、職員提案制度についても、制度の検証・見直しを行い、職員の事務改善に対する意識向上に取り組 みます。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B		※口事業完了			

評価者名

行革推進課長

中野 達夫

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
事務管理事務	職員の定数管理、執務室の配置などの事務管理に係る業務を行った。				○	○	○	○
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	263	事務管理に係る定期刊行物等消耗品費	136	136	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了				○	○	○	○
事務改善事務	職員提案制度(応募51件)など事務改善に係る業務を行った。				○	○	○	○
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	264	事務補助嘱託員報酬	1,029	1,021	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	264	職員提案制度に伴う報償費	85	67	○	○	○	○
	264	事務補助嘱託員費用弁償	104	99	○	○	○	○
※□	事業完了							
主な個別事業					【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了							
主な個別事業					【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了							
主な個別事業					【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了							
主な個別事業					【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了							